

渥美半島道路期成経済連合会が総会

道路の必要性などPRへ

渥美半島道路期成経済連合会(会長・河合利則田原市商工会長)は22日、田原市役所で総会を開き、出席者は渥美半島道路の必要性や連合会の活動をPRしていくことを確認した。

渥美半島道路は、調査が進められている「浜松湖西豊橋道路」から半島の先端までの構想路線となっている。

総会では、今年度事業計画が承認され、引き続き国、県への要望活動などを強化し、会員の拡大にも力を入れる。道

路の必要性を訴えていくほか、連合会の活動をPRするためQRコード入りの名刺の使用を拡大したり、市内に啓発看板を増やしたりして実現への機運を高め、役員からは、車両に貼るPRステッカーを増加させる提

案も出た。連合会は、市内の経済団体、企業でつくり、3年前に設立。新たに田原陸運協会が加入した。

この日は、渥美半

島幹線道路等整備促進協議会の総会も開かれた。会長を務める山下政良市長は、4月の市長選でも訴えた渥美半島道路について「まず構想路線から計画路線へステップアップさせた」と改めて強調し、「道路はまち、産業の発展に欠かせない」と述べた。(中村晋也)



渥美半島道路期成経済連合会の総会 (田原市役所で)